

平成 19・20 年度 土木学会複合構造委員会 第 2 回幹事会議事録

1. 日 時：平成 19 年 8 月 31 日（金）14:45～17:30
2. 場 所：高知工科大学 会議室
3. 出席者：中島委員長，横田副委員長，渡辺幹事長，池田幹事，葛西幹事，島幹事，杉浦幹事，武知幹事，田中幹事，西崎幹事，古市幹事，溝江幹事，山口幹事，伊藤現状調査小委員会委員長，（欠席者：大垣幹事，大山幹事，本間幹事，川島事務局）（敬称略）

4. 配布資料

- | | |
|--------------------|----------------------------------|
| 資料 幹 2 - 1 - 1 | 第 1 回幹事会議事録案 |
| 資料 幹 2 - 1 - 2 | 幹事会委員名簿 |
| 資料 幹 2 - 1 - 3 | 幹事会業務分担（案） |
| 資料 幹 2 - 2 | 第 1 回複合構造委員会議事録案 |
| 資料 幹 2 - 3 - 1 | 第 7 回複合構造の活用に関するシンポジウム全体概略スケジュール |
| 資料 幹 2 - 3 - 2 | 第 7 回複合構造の活用に関するシンポジウムプログラム |
| 資料 幹 2 - 3 - 3 | 第 7 回複合構造の活用に関するシンポジウム CD デザイン |
| 資料 幹 2 - 4 - 1 (1) | 平成 19 年度全国大会研究討論会研 - 02 資料 |
| 資料 幹 2 - 4 - 1 (2) | 平成 19 年度全国大会研究討論会研 - 02 資料 |
| 資料 幹 2 - 4 - 1 (3) | 平成 19 年度全国大会研究討論会研 - 02 資料 |
| 資料 幹 2 - 5 - 1 | 委員会活動度個別調書評価項目 記入用紙 |
| 資料 幹 2 - 5 - 2 | 委員会論文集（満たすべき基準自己チェック） |
| 資料 幹 2 - 5 - 3 | 平成 20 年度「出版企画書」の提出について |
| 資料 幹 2 - 5 - 4 (1) | 土木学会学術論文等のインターネット公開指針 |
| 資料 幹 2 - 5 - 4 (2) | 土木学会学術資料の公開に関するアンケート回答用紙 |
| 資料 幹 2 - 6 - 1 | 小委員会と出版区分 |
| 資料 幹 2 - 6 - 2 (1) | 現状調査小委員会延長願い |
| 資料 幹 2 - 6 - 2 (2) | 9A/9B の目次案 |
| 資料 幹 2 - 7 - 1 | 複合構造委員会中期計画 |

5. 議事次第

(1) 第 1 回幹事会議事録案の確認（資料 幹 2 - 1 - 1）

池田幹事より第 1 回幹事会議事録案が確認され了承された。

(2) 平成 19, 20 年度幹事会 業務分担（案）（資料 幹 2 - 1 - 3）

- ・ 葛西幹事を追記する。
- ・ 複合構造の現状調査小委員会の連絡幹事は，武知幹事ではなく葛西幹事とする。

(3) 第 1 回複合構造委員会議事録案の確認（資料 幹 2 - 2）

溝江幹事より第 1 回幹事会議事録が確認され，(11) 小委員会報告審議事項の複合構造の現状調査小委員会の内容の一部を修正することとした。

- ・ 「活動期間を延長することになったとの報告があった。」→「活動期間の延長について申請があった。」

(4) 第7回複合構造の活用に関するシンポジウム(資料 幹2-3-1~幹2-3-3)

古市幹事より、第7回複合構造の活用に関するシンポジウムの準備状況について報告があった。

- ・ 原稿締切は9/10と変更しており、執筆者には連絡済である。
- ・ 投稿件数は63件で、辞退は1件あるため最終投稿件数は62件となる。
- ・ これから座長を決定するが、座長候補は主として複合構造委員会委員とする。
- ・ パネル展示は現在申込がないため、関係者へさらに周知することにする。申込件数が足りない場合は、複合構造委員会またはその小委員会からパネルを展示してもよい。

西崎幹事より、第7回複合構造の活用に関するシンポジウム講演集の準備状況について報告があった。

- ・ 委員会名簿はCDの中身に掲載することとし、CDケース裏面には著作権に関することを掲載する。
- ・ 建築学会との共催であるので、CD表紙や名簿などの掲載項目については建築学会と相談する。
- ・ 次回のシンポジウムの運営については、建築学会と協議する。

横田副委員長より、国際ジョイントセミナーの準備状況について報告があった。

- ・ 現在4件の発表は内定しており、原稿は9/26を締切としている。

(5) 全国大会研究討論会(資料 幹2-4-1(1)~(3))

西崎幹事より、研究討論会の準備状況について報告があった。

- ・ 発表時間は約1時間、残り約30分を討議とする。

(6) 委員会連絡事項(資料 幹2-5-1~幹2-5-4)

渡辺幹事長より、以下の報告があった。

- ・ 委員会活動度個別調書評価項目および委員会論文集(満たすべき基準自己チェック)は、提出済みである。
- ・ H20年度に出版を予定している小委員会は、2007/9/28までに出版企画書を幹事会に提出する。現時点では、性能照査指針小委員会は示方書、新材料による複合技術研究小委員会は「複合構造レポート 02 各種新材料の特性と新しい複合構造の性能評価資料」を予定している。
- ・ 小委員会からの出版の時期については原則として活動期間内とするが、間に合わない場合は活動終了後直ちに出版することにする。
- ・ 土木学会学術論文等のインターネット公開指針について、土木学会ですでに指針が策定されている旨の説明があった。複合構造の活用に関するシンポジウムは建築学会と共催であるため、中島委員長が建築学会に講演集の公開について確認をすることになった。

(7) 小委員会と出版区分(資料 幹2-6-1)

武知幹事より、以下の説明があった。

- ・ 区分1の外部への意見照会の方法は、今後さらに調査して適切なハードルを設けることとする。
- ・ 区分2と区分3の区分は、委員会への意見照会と報告の違いであるが、区分2は「指針、マニュアルを対象とする。」とすることとした。すなわち、「調査研究結果」であれば区分3とする。
- ・ 各区分の委員長承認については、今後検討する。

- ・ 区分2の指針・マニュアルの作成小委員会に関する取り決めは、出版とは別に設ける。
- ・ 出版企画書は年度途中でも随時提出して申請できる。発行延期願いは、年度末に提出する。

(8) 現状調査小委員会活動期間延長お願い(資料 幹2-6-2(1),(2))

伊藤現状調査小委員会委員長より、活動延長についての説明があった。

- ・ 講習会は平成20年9月までに開催する。それに伴い活動延長期間は、平成19年10月～平成20年9月30日とすることを承認した。
- ・ 示方書の出版が企画されているため、9A/9Bの位置付けは今後検討する。

(9) 複合構造委員会中期計画(資料 幹2-7-1)

渡辺幹事長より、企画WGで中期計画について詳細を詰めるように指示があった。

(10) その他

- ・ 新材料による複合技術研究小委員会は次回第3回幹事会で、「複合技術の最先端 その方法と土木分野への適用」に関する講習会の報告をする。
- ・ 今後の幹事会日程
 - 第3回 2007/10/25(木)14時～ (土木学会)
 - 第4回 2007/12/14(金)14時～ (宇都宮)
 - 第5回 2008/2/29(金)14時～ (場所未定)

以上(記録・文責 山口浩平)